

# 園芸市場情報

令和2年3月号

[www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/](http://www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/)

発行：千葉県農林水産部流通販売課  
首都圏マーケティングセンター  
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1  
大田市場事務棟4F  
電話：03-5492-5416・5407  
FAX：03-5492-5407

## 3月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年を上回り、相場は前年並か！

果実類は、入荷量は前年並み、相場は前年を下回るか！

花きは、入荷量は前年並み、相場は前年を下回るか！

## <今月の写真>

### \* 千葉県産さつまいも試食宣伝会 \*

2月13日(木)に大田市場において、千葉県さつまいも協議会が中心となり、千葉県園芸協会、全農ちば、県、産地からは、JA成田市、JAかとりが参加し、本格出荷を迎える「べにはるか」の試食宣伝会を開催しました。

今年度は、台風被害の影響で出荷時期が1か月ほど遅れていますが、30日以上貯蔵された食味の良い「べにはるか」の本格出荷の時期となります。

当日は、試食用として、200本以上の焼き芋を用意しましたが、食味を確かめるため大勢の買参人が集まり10分ほどでなくなりました。

また、今年度さつまいも協議会で作成した「焼きいも袋」もデビューし、今後、量販店等でのさつまいもの販売促進で活用されます。



県内各産地のさつまいもの展示と焼き芋の試食を実施



さつまいも協議会で、今年度作成した「焼きいも袋」

## CONTENTS (目次)

<b>I 青果情報</b>	<b>1項</b>
2月（中旬まで）の経過	
東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格	
3月の見通し	
今月の青果物 特集「菜の花」	
<b>II 花き（切花）情報</b>	<b>6項</b>
2月（中旬まで）の経過（販売経過、品目別経過）	
3月の見通し（コギク・カラー・バラ）	
1月の入荷量と単価の経過 <確定値>	
<b>III 千葉県内市場における園芸品の市況概況</b>	<b>7項</b>
1月の青果物と花き	
<b>IV やっちゃんば閑話</b>	<b>8項</b>
「同調行動」	
<b>V 首都圏掲示板</b>	<b>9項</b>
‘品川やきいもテラス2020’が開催されました	
大田市場で「エシカル消費」を研修	
2019年産ピワの入荷実績	
東京都中央卸売市場へのブロッコリーの入荷状況	

## 用語解説

園芸市場情報に使用する主な用語解説	<b>急騰</b>	：前日に比べ大幅に価格が上がる。（3割程度以上）	<b>変動の幅を示す用語</b>	<b>平年並</b>	：±2%以内
	<b>強い</b>	：前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		<b>やや</b>	：±3～5%
	<b>強保合</b>	：前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		<b>かなり</b>	：±6～15%
	<b>保合</b>	：前日とほとんど同じ価格。		<b>大幅</b>	：±16%以上
	<b>弱保合</b>	：前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	<b>弱い</b>	：前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	<b>急落</b>	：前日に比べ大幅に価格が下がる。（3割程度以上）			
	<b>まちまち</b>	：産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

# I 青果情報

## 1 1月下旬～2月中旬までの経過

気象	<p>2月上旬に一時的な冷え込みがあったが、寒気が南下しにくい状況が続き、暖冬傾向で、菜種梅雨のような気候となった。</p> <p>気温は、全国的に平年より高い傾向が続き、特に北海道の一部地域を除いて平年よりかなり高くなった。</p> <p>降水量は、北海道（道東、道北を除く）や北陸地方を除いて降雨が多く、太平洋側では平年を大幅に上回る地点が多くなった。</p> <p>日照時間は、本州日本海側や北海道道央以外の地域では、平年より短い傾向となった。</p>
----	---

### 野菜類

入荷量	<p>関東、東海地方、西南暖地からの入荷が主となった。</p> <p>全国的な暖冬傾向により「キャベツ類」「レタス類」「ほうれんそう」等の葉茎菜類は潤沢な入荷となり、前年を上回った。「トマト」「ピーマン」「きゅうり」など施設果菜類は多雨寡日照のため着果肥大や色回りが悪く、前年を下回った。</p> <p>野菜全体では、1月下旬から2月中旬の入荷量は128,005 t（前年比103.7%）と前年をやや上回った。</p>
相場	<p>冷え込みが弱く、消費の伸び悩みから「だいこん」「キャベツ類」は安値が続き、「はくさい」も平年を下回る相場展開が続いた。入荷が安定していた「ほうれんそう」「こまつ菜」なども軟調な相場となった。「きゅうり」も節分を境に下げ基調とはなったが、前年、平年を上回る価格となった。</p> <p>野菜全体では、1月下旬から2月中旬の価格は219円（前年比93.0%）と前年をかなり下回った。</p>

### 果実類

入荷量	<p>「みかん類」「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」を中心に入荷した。</p> <p>「みかん類」は主力の静岡産が少なく前年を下回った。「いちご類」は1月下旬は少なかったが、2月中旬にかけて増量した。「りんご類」は産地の貯蔵量が少なく入荷量は前年を下回った。また、2月下旬からは長崎の「ハウスびわ」の入荷が始まった。</p> <p>果実全体では、1月下旬から2月中旬までの入荷量は35,848 t（前年比92.6%）と前年をかなり下回った。</p>
相場	<p>価格は、入荷量の少なかった「りんご類」は前年を大幅に上回った。「みかん類」「かんきつ類」は前年を下回った。</p> <p>果実全体では、1月下旬から2月中旬までの価格は471円/kg（前年比101.7%）と前年並だった。</p>

# 東京都中央卸売市場における入荷量と価格

2020年1月下旬～2月中旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	1月下旬				2月上旬				2月中旬				1月下旬～2月中旬合計			
	開市日数 本年8日・前年8日				開市日数 本年7日・前年7日				開市日数 本年7日・前年7日				開市日数 本年22日・前年22日			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
<b>野菜総量</b>	<b>45,614</b>	<b>101.5</b>	<b>223</b>	<b>94.9</b>	<b>43,430</b>	<b>110.2</b>	<b>213</b>	<b>88.2</b>	<b>38,961</b>	<b>99.7</b>	<b>220</b>	<b>95.9</b>	<b>128,005</b>	<b>103.7</b>	<b>219</b>	<b>93.0</b>
うち外国産	1,182	86.0	286	109.1	1,203	89.7	260	98.9	1,182	94.8	235	95.0	3,567	90.0	260	101.0
<b>果実総量</b>	<b>13,140</b>	<b>87.5</b>	<b>435</b>	<b>97.4</b>	<b>11,974</b>	<b>94.0</b>	<b>484</b>	<b>104.4</b>	<b>10,734</b>	<b>98.2</b>	<b>500</b>	<b>103.0</b>	<b>35,848</b>	<b>92.6</b>	<b>471</b>	<b>101.7</b>
うち外国産	1,288	106.3	212	90.0	1,058	93.4	226	97.0	1,095	107.3	227	96.9	3,441	102.3	221	94.3

## 主要品目一覧(都中央全体)

(単位:t、%、円/kg)

品目 (野菜)	1月下旬				2月上旬				2月中旬				1月下旬～2月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	4,230	105.8	67	101.7	4,191	126.3	63	68.0	3,356	95.4	71	87.6	11,777	108.7	67	84.5
にんじん	2,429	81.5	119	127.7	2,162	100.1	115	122.6	2,041	108.6	113	105.6	6,632	94.5	116	119.3
はくさい	4,991	93.8	53	152.5	5,011	108.6	46	111.1	3,673	77.4	48	119.2	13,675	93.1	49	127.0
キャベツ類	6,091	125.4	61	58.0	5,784	116.8	53	53.2	5,060	97.1	64	86.1	16,935	112.8	59	63.9
ほうれんそう	640	117.0	476	96.2	624	129.2	393	77.9	505	96.2	460	112.1	1,769	113.8	442	94.2
ねぎ	2,088	104.6	215	90.8	1,676	110.3	202	68.0	1,499	105.2	205	65.3	5,263	106.5	208	74.9
レタス類	2,624	101.4	210	91.5	2,616	116.0	172	75.4	2,379	99.4	177	89.2	7,620	105.3	187	85.3
きゅうり	1,352	74.0	674	158.8	1,431	96.7	601	158.5	1,674	120.2	381	103.8	4,457	94.8	541	137.5
なす	461	91.1	556	105.9	479	109.0	516	97.1	507	101.2	482	97.5	1,447	100.0	517	100.1
トマト	1,678	82.5	373	110.6	1,633	96.1	442	122.9	1,576	94.8	425	113.0	4,887	90.6	413	115.9
ピーマン	448	89.4	835	110.8	431	90.3	865	118.9	396	79.3	827	116.7	1,275	86.3	843	115.4
さといも	208	92.1	318	96.7	209	113.1	298	87.7	181	113.2	314	94.4	598	104.8	310	92.9
ばれいしょ類	3,438	109.0	85	74.1	2,962	111.6	87	78.9	2,504	98.6	90	87.2	8,904	106.7	87	79.3
たまねぎ	3,605	104.3	94	61.7	3,952	118.9	87	56.2	3,720	129.3	82	50.3	11,278	116.8	87	56.0
生しいたけ	261	100.0	955	91.2	239	105.7	928	93.0	217	106.0	923	90.4	717	103.6	936	91.5
かぼちゃ	819	103.7	219	104.5	760	101.3	167	87.5	719	110.9	136	83.3	2,298	105.0	176	92.8
さやえんどう	67	104.1	1,038	99.4	63	117.0	1,006	86.9	70	141.7	1,018	98.7	200	119.4	1,021	94.8
かんしょ	1,148	93.3	234	101.8	981	92.7	229	99.0	969	101.6	231	98.6	3,099	95.6	231	99.9
かぶ	429	100.1	129	90.2	387	98.5	129	83.5	358	83.0	138	98.4	1,174	93.7	132	90.5
ごぼう	290	110.6	243	60.9	270	101.9	233	63.2	297	138.2	187	48.1	858	115.5	220	57.2
こまつ菜	425	110.6	329	85.0	389	116.0	283	72.3	375	102.3	295	89.8	1,189	109.5	303	82.3
こねぎ	160	105.8	755	99.3	129	101.7	754	103.7	125	92.3	758	105.4	415	100.1	755	102.6
糸みつば	49	99.0	418	85.4	51	92.9	394	90.9	53	110.4	334	89.5	153	100.4	381	88.0
しゅんぎく	105	94.6	633	99.2	88	84.6	581	90.7	84	88.9	545	96.5	278	89.5	590	95.7
にら	290	105.1	687	87.4	237	98.6	714	89.2	245	93.3	736	99.0	772	99.1	711	91.6
セルリー	279	98.1	180	89.6	256	92.6	187	96.3	245	88.8	213	105.5	780	93.3	193	96.8
カリフラワー	272	256.9	176	57.9	172	172.9	199	59.8	120	119.7	248	91.6	565	184.6	198	65.5
ブロッコリー	1,376	155.5	302	70.3	1,259	134.0	291	69.0	1,142	109.5	323	95.6	3,777	131.7	305	77.4
サラダな	28	92.7	419	100.5	22	78.7	429	98.0	24	80.2	394	108.7	74	84.0	414	102.2
パセリ	19	79.0	987	120.8	17	95.3	917	102.7	17	95.1	867	101.6	53	88.8	926	108.8
チンゲンサイ	140	100.8	297	100.5	129	97.2	281	91.9	125	97.1	279	93.9	394	98.4	286	95.5
ミニトマト	560	91.8	681	104.4	544	102.4	793	120.0	537	109.6	709	105.2	1,642	100.6	727	109.9
いんげん	105	102.2	748	98.0	76	72.5	798	106.8	76	80.9	845	111.9	257	85.3	792	104.8
そらまめ	48	143.2	570	75.9	61	165.4	616	78.3	54	87.5	594	95.2	163	123.3	596	84.8
やまといも	47	86.4	530	95.6	42	92.0	526	96.6	35	74.4	553	104.9	123	84.3	535	98.6
根しょうが	94	82.6	572	99.7	80	90.5	581	101.3	85	98.9	585	99.6	259	89.9	579	100.2
マッシュルーム	52	88.0	922	106.6	73	151.8	605	68.1	44	89.6	940	104.2	169	108.2	789	89.3

品目 (果実)	1月下旬				2月上旬				2月中旬				1月下旬～2月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
みかん類	5,109	94.8	274	86.2	3,576	87.0	293	85.1	2,229	88.5	316	88.7	10,915	90.8	289	86.2
(早生みかん)	265	173.9	337	57.3	110	117.0	353	54.9	82	287.1	561	101.2	457	166.2	381	63.2
(普通みかん)	4,844	92.5	270	87.2	3,465	86.4	291	86.6	2,143	86.7	306	87.7	10,453	89.2	285	87.0
かんきつ類	3,041	85.6	327	98.5	3,454	98.4	319	97.2	3,570	103.1	320	96.3	10,066	95.6	321	97.3
りんご類	2,037	73.9	342	121.7	2,048	90.1	346	123.6	1,858	80.4	343	122.5	5,943	81.0	344	122.6
(ふじ)	1,681	72.9	342	123.3	1,693	87.2	344	124.0	1,567	79.6	346	127.2	4,942	79.5	344	124.7
いちご類	1,086	71.8	1,692	113.6	1,412	100.3	1,627	109.2	1,652	122.4	1,401	92.1	4,150	97.2	1,554	103.6
(とちおとめ)	585	70.6	1,573	114.4	766	101.6	1,542	112.0	810	121.8	1,325	95.5	2,161	96.2	1,469	106.5
(あまおう)	152	73.9	1,900	104.6	216	103.4	1,830	103.5	286	122.5	1,605	90.4	655	100.9	1,748	97.9
メロン類	121	107.9	1,043	89.4	119	113.2	854	74.6	97	102.0	883	72.6	337	107.9	930	79.2
(アールスメロン)	64	97.3	1,510	95.9	56	105.8	1,212	73.3	52	103.9	1,173	65.6	172	101.9	1,311	78.8
すいか類	16	93.5	330	107.3	24	125.6	374	87.7	27	129.0	353	83.0	68	117.4	355	90.9
(すいか大王)	16	93.2	327	106.4	22	136.9	327	97.2	24	149.4	302	90.6	62	125.8	317	97.5
日本なし類	20	90.5	263	90.3	3	34.5	240	67.6	1	89.1	192	51.8	24	74.9	257	82.4
ぶどう類	34	70.9	993	145.2	32	84.2	598	103.0	27	83.1	576	110.5	93	78.5	736	121.5
かき類	164	101.9	382	95.5	90	141.1	388	97.3	50	112.8	388	95.0	304	112.9	385	96.0

主要品目一覧(都中央千葉県産)

品目 (野菜)	1月下旬				2月上旬				2月中旬				1月下旬～2月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	1,584	125.2	69	106.6	1,589	157.7	67	70.5	1,205	108.0	78	89.0	4,378	129.2	71	87.1
にんじん	1,977	80.2	123	128.2	1,718	98.3	119	123.0	1,522	106.2	119	105.9	5,217	92.4	121	120.0
キャベツ類	1,218	147.0	65	59.3	1,292	114.9	56	56.5	1,012	74.8	62	92.7	3,521	106.6	61	68.7
ほうれんそう	52	75.2	398	89.5	58	96.8	316	71.9	51	75.1	380	107.1	161	81.8	363	88.0
ねぎ	623	83.0	224	89.4	621	111.3	203	65.9	578	95.2	205	63.0	1,821	95.1	211	72.5
レタス類	172	103.1	211	93.6	163	112.0	157	67.8	148	94.1	164	88.2	484	102.9	178	83.3
きゅうり	241	66.0	630	155.3	305	108.9	558	151.4	359	165.2	364	101.6	905	104.9	500	131.1
トマト	56	65.3	317	96.9	57	81.4	397	116.5	51	67.1	405	113.7	164	70.7	372	109.2
さといも	21	53.2	267	83.6	22	47.1	266	82.7	19	44.7	261	83.6	62	48.1	265	83.3
かんしょ	635	96.8	213	99.0	592	101.0	211	95.3	543	102.1	211	92.8	1,771	99.8	212	95.8
かぶ	379	98.7	129	90.1	351	99.3	128	82.0	327	81.4	138	98.2	1,056	92.8	131	89.9
こまつ菜	19	142.3	317	79.6	14	124.5	273	70.6	18	131.7	250	78.1	51	133.3	281	76.6
しゅんぎく	41	78.7	622	99.0	32	67.6	591	94.3	33	76.8	560	99.7	106	74.4	593	97.7
サラダな	9	79.9	385	103.8	8	74.5	398	105.2	9	101.3	362	94.2	25	84.2	381	101.0
パセリ	9	68.0	849	130.4	7	82.2	866	109.1	7	90.9	786	102.0	23	78.2	835	115.3
ミニトマト	63	90.7	469	81.2	53	133.9	618	88.1	48	153.6	660	88.6	164	116.9	573	88.2
やまといも	27	92.1	549	95.5	23	88.7	543	95.8	19	75.1	552	99.1	68	85.6	548	96.7

品目 (果実)	1月下旬				2月上旬				2月中旬				1月下旬～2月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
メロン類	2	53.7	718	53.8	2	61.3	599	42.1	2	57.0	833	55.9	5	57.5	707	50.0
(アールスメロン)	2	53.7	718	53.8	2	61.3	599	42.1	2	57.0	833	55.9	5	57.5	707	50.0

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。  
0は単位に満たないもの。－は数値の発表がないもの。

前年比10%以上  
前年比10%以下

資料: 東京青果物情報センター速報

## 2 3月の見通し

### 野菜

気象庁の1か月予報によると全国的に平年より高い気温が続く予報で、葉茎菜類を中心に前進傾向が続き、順調な入荷となる見込み。「にんじん」は出荷終盤の千葉県で減量のペースが早まるが、徳島県産の前進出荷により端境は一時的になると考えられる。

価格は、不足感のない入荷から、「だいこん」「キャベツ類」などで安値だった前年並となり、相場が低迷する品目が多くなる予想である。

野菜全体では、入荷量は前年を上回り、価格は前年並の見込み。

### 果実

「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」「みかん類」を中心に入荷する。

入荷量は、「かんきつ類」は3月上中旬は前年並みで下旬から減少する見込み。

「りんご類」は、青森の産地在庫が少ないため入荷は少ない見込み。「いちご類」は関東、九州各産地から順調に入荷すると見込まれる。

価格は、入荷量が多い見込みの「いちご類」は前年を下回る見込み、数量の少ない「りんご類」は、前年を上回る見込み。

果実全体では、入荷量は前年並み、価格は前年を下回る見込み。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (県内産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	↗↗	↘	⇒	↘↘	主産地は神奈川、千葉県。両県で生育前進、神奈川で切り上げが早まる可能性も。入荷量は少なかった前年をかなり上回り、平年をやや下回る見込み。
にんじん	↘	⇒	↗↗	↘↘	主産地は千葉県、徳島県。千葉は昨年台風の影響が若干残り、徳島は前進傾向。入荷量は多かった前年をやや下回り、平年並の見込み。
キャベツ類	⇒	↗	↘	↓↓	主産地は愛知、千葉、神奈川県。各県で生育が大幅に前進しており、潤沢な入荷が続く予想。入荷量は少なかった前年並で、平年をやや上回る。
ほうれんそう	⇒	⇒	⇒	↘↘	主産地は茨城、群馬県。温暖な気候と適度な雨から生育は前進し、市場全体では順調な出荷が予想される。入荷量は前年及び平年並の見込み。
ねぎ	⇒	⇒	↘	↓↓	主産地は千葉、埼玉県。秋冬ねぎは肥大が良く太めの傾向、春ねぎについても前進出荷の予想。入荷量は前年及び平年並の見込み。
きゅうり	⇒	↘	↘	↘	主産地は群馬、宮崎県。西南暖地は生育が回復し、関東も順調に増量する見込みである。入荷量は少なかった前年並で、平年をやや下回る見込み。
トマト	⇒	↘	⇒	↘	主産地は熊本、栃木県。小玉傾向が続くが、中旬頃から出荷量が回復する産地も。入荷量は少なかった前年並で、平年をやや下回る見込み。
			増加	減少	

凡例			
⇒	平年並: ±2%	↗↗, ↘↘	かなり高, かなり低: ±6~15%
↗, ↘	やや高, やや低: ±3~5%	↑↑, ↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上

### 3 今月の青果物

#### 菜の花

主要産地の菜の花の入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	2019年3月入荷量	2019年3月シェア率
千葉	215 t	57.7 %
徳島	46 t	12.4 %
香川	42 t	11.2 %
茨城	41 t	11.0 %

#### 今後の競合産地の動向は?

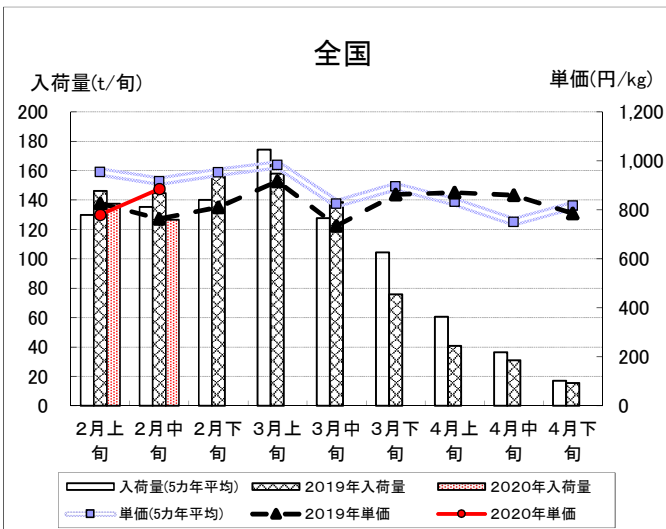
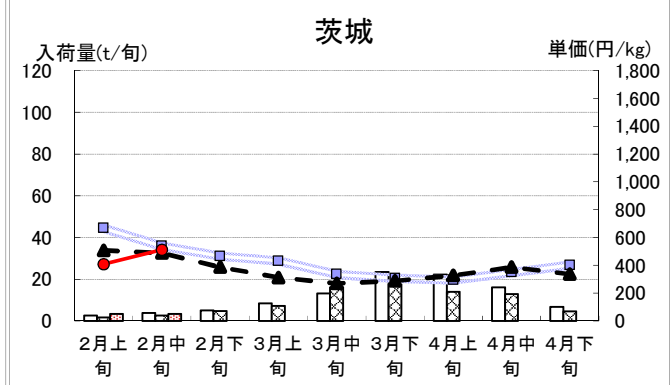
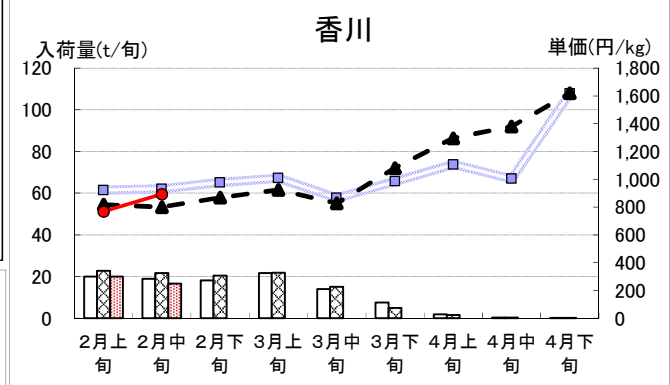
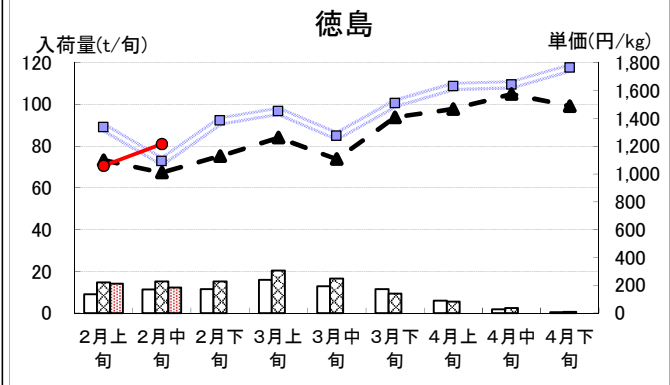
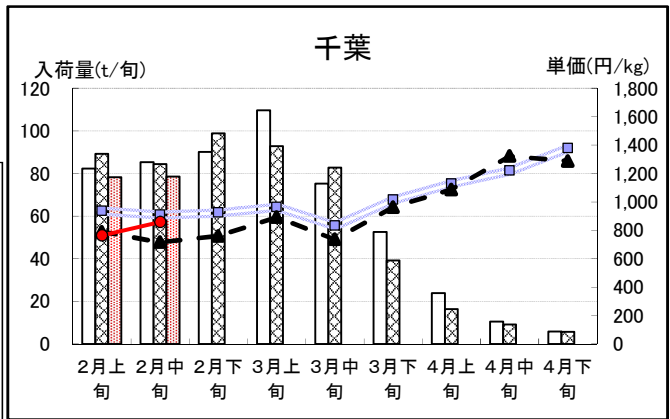
東京都中央卸売市場における菜の花の入荷は、2月下旬～3月上旬にピークを迎え、この時期はひな祭りがあることから特に需要が高まります。主な菜の花の産地は、千葉県や徳島県、香川県、高知県などの四国地方で、茨城県からは「チンゲン菜ばな」、その他の地域からは花蕾を持たない「かき菜」などが出荷されています。

千葉県や四国地方から出荷される菜の花は、蕾が美しく見える束形態で出荷されており、その特徴ある形態は実需者から評価され、高単価で取り引きされています。近年では、束より量目を減らしたパックや袋などの形態で、値頃感を押し出した販売が増える傾向にあります。

前年は、千葉県や香川県などの主産地からの出荷が前進化し、3月以降は平年を下回る入荷が続きました。

本年は、千葉県では台風被害による播き直しで、10月下旬以降の播種面積が例年より増えましたが、暖冬傾向により生育が進みました。千葉県で台風以前に播種した分で生育にばらつきがあることや、香川県などで暖冬により生育が前進傾向にあることなどから、全体の入荷量は少なかった前年並で、平年を下回る見込みです。

3月入荷予測	370t(前年比99.4%、平年比91.1%)		
3月価格予測	880円(前年比105.0%、平年比96.5%)		
3月市況予測	(上旬) 強保合 ↗	(中旬) 弱保合 ↘	(下旬) 強保合 ↗



## II 花き(切花)情報

### 2月(中旬)までの経過

暖冬の影響で全般的に生育は前進傾向だが、日照不足のため入荷量は少なかった。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経過
入荷量	1月下旬は昨年を下回り平年並み。2月上旬・中旬は平年をかなり下回った。
相場	1月下旬・2月上旬は昨年並みであったが、中旬は昨年をかなり上回り平年をやや上回った。
動向	大きな需要がない時期で、業務需要中心の動き。フラワーバレンタインについては認知がされてきており、一部の洋花の引き合いが強まった。

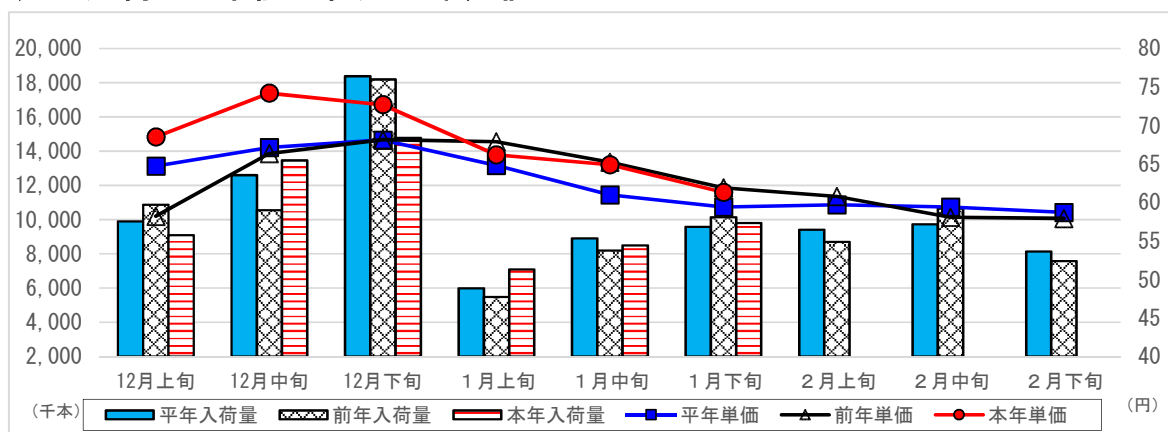
#### 品目別経過

品目	経過
SPキク	株大田花き 各産地上位等級が少なく、下位等級中心の出荷。輸入品では、マレーシア産は大きくまとまらず、やや不安定な入荷。ベトナム産は安定した入荷。
ガーベラ	株F A J 静岡主体。天候不順の影響で出荷数量の少ない状況続き、相場安定。
バラ	株大田花き フラワーバレンタイン需要から、赤や濃いピンクのSTに引き合いあり。また、ブライダル需要中心に堅調な取引。入荷量は、曇天の影響を受け少なめ。

### 3月の見通し

品目	見通し
コギク	株大田花き 春彼岸向けの出荷は例年並みを予定。今後の天候次第で前進出荷の可能性あり。産地によっては色目が偏り、不足する可能性もあり。
カラー	株大田花き 湿地性は、千葉、愛知ともに主品目のウェディングマーチ中心に出荷のピークを迎え安定供給となる。畑地性は、千葉中心に出回り各色増える見通し。
バラ	株東日本板橋花き 入荷量は徐々に増えてくる見込み。3月は卒業式と歓送迎会等の年度末需要を控えている。販売はもちあいで推移していく見込み。

### 1月の入荷量と単価の経過<<確定値>>〔株大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成 平年値は過去3カ年の平均



### Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

#### 青果物

単位：t、円/kg

品目	R2.1月				累計 (R2.1～R2.1月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
野菜	19,578	1.00	173	0.94	19,578	1.00	173	0.94
だいこん	2,316	1.05	71	1.05	2,316	1.05	72	1.07
にんじん	1,085	0.74	114	1.28	1,085	0.74	115	1.27
はくさい	2,189	0.87	60	1.33	2,189	0.87	60	1.31
キャベツ	3,140	1.07	66	0.72	3,140	1.07	67	0.73
ねぎ	909	1.04	220	0.89	909	1.04	221	0.90
トマト	568	0.91	336	1.06	568	0.91	337	1.07
きゅうり	388	0.77	591	1.35	388	0.77	591	1.35
ばれいしょ	1,208	1.01	82	0.70	1,208	1.01	83	0.71
たまねぎ	1,920	1.20	77	0.54	1,920	1.20	78	0.55
レタス	868	0.99	191	0.84	868	0.99	192	0.85
果実	4,382	0.95	382	0.99	4,382	0.95	383	1.00
みかん	1,586	0.89	235	0.88	1,586	0.89	235	0.89
かき類	68	1.44	363	0.87	68	1.44	364	0.88
グレープフルーツ	40	0.53	261	1.31	40	0.53	262	1.34
なし類	18	2.07	258	0.91	18	2.07	258	0.91
ぶどう類	22	0.86	753	1.56	22	0.86	753	1.57
いちご類	349	0.79	1,661	1.19	349	0.79	1,662	1.20
すいか類	0	0.25	366	1.09	0	0.25	367	1.08
メロン類	29	1.15	536	0.90	29	1.15	537	0.90
バナナ	418	1.19	138	0.81	418	1.19	139	0.82
りんご	581	0.93	313	1.17	581	0.93	313	1.18
その他	260	1.15	313	1.12	260	1.15	314	1.11
青果物合計	24,220	0.99	212	0.95	24,220	0.99	213	0.96

#### 花き

単位：千本（千鉢）、円/本（鉢）

品目	R2.1月				累計 (R2.1～R2.1月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
切り花	1,014	0.90	65	0.92	1,014	0.90	66	0.93
きく	276	0.82	72	0.94	276	0.82	73	0.95
バラ	31	0.83	101	1.12	31	0.83	102	1.13
カーネーション	151	0.98	47	0.94	151	0.98	47	0.93
枝物	32	0.91	74	0.71	32	0.91	75	0.73
鉢物	55	1.03	172	1.04	55	1.03	173	1.05
その他	1	1.00	83	4.36	1	1.00	83	4.36
花き合計	1,102	0.90	71	0.94	1,102	0.90	72	0.96

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単価に満たないことを示

※「-」は、数値の発表がないことを示す。

## IV やっらゃば閑話

### 「同調行動」

皆さんは、ECサイト（ネット通販）で買い物をするとき、何をきっかけに商品を選ばれるでしょうか。欲しい商品が決まっているときは、価格であったり、出品者が信頼できるかであったり、急ぎの場合はなるべく早く届く便があるものを選ぶことが多いと思います。例えば、「Bluetooth イヤホン」や「モバイルバッテリー」等のようにジャンルで検索すると（検索条件で絞り込んでも）膨大な数の商品がヒットしますが、その際は口コミや評価で選ぶことも多いと思います。一般のユーザーが付度なしに書いたレビューは参考になるし、その数が多く、また評価が高いほど、「間違えない買い物ができる」と信じてしまいます。周囲の動向を見てから、自身の行動や意見を定めることは、心理学では「同調行動」というそうで、先程のような心理から生まれる効果を「バンドワゴン効果」というそうです。

最近、見たことも聞いたこともないメーカーの廉価品が、異常に高い評価を受けているのを見かけます。もちろん、優良な商品も中にはあると思いますが、やらせレビューを大量に増やす手の込んだ手法は、まさに人々の「同調行動」を利用していると言えます。やらせレビューにつられたユーザー達が購買に走ることで、商品に致命的な欠陥が無ければ、口コミも評価も増えて、一定の基準に達すると今度はサイトのお墨付きまでもらえるそうです。

ネガティブなイメージから入ってしまいましたが、バンドワゴン効果を利用することは立派なマーケティングの手法です。‘デマ’は論外ですが、行列が行列を作る、そのきっかけを作れば、さらに選ばれる産地になることも遠くないと思います。

（かけず小僧）

# V 首都圏揭示板



## ‘品川やきいもテラス2020’が開催されました

1月27日～2月2日に品川駅港南口近くの品川シーズンテラスで「品川やきいもテラス2020」が開催されました。

全国の焼芋専門店16店舗が出店し、千葉県からも柏市の『おいもやさん moimoi』が出店していました。こちらのお店は栗源、香取産のさつまいもを使用しており、おすすめ品種は「シルクスweet」とのことでした。

人気のお店は平日でも長蛇の列ができており、土日はどこのお店も並ばないと買えないほどの盛況ぶりで、今後のさつまいも需要の可能性を感じさせるイベントでした。



長い行列になっていた品川区の『超蜜焼き芋 pukupuku』  
極限までデンプンを糖に変えて蜜がしたたるほどに仕上げた一品



柏市の『おいもやさん moimoi』シルクスweet、大栄愛娘、べにはるか、べにあずま、あやこまち、パープルスイートロードなど品種豊富でした



スイーツは、やきいもプリン、やきいもアイス、やきいもブリュレ、焼き芋タピオカラテ (!)、スイートポテトチーズティー (!) … などなどさつまいもの加工原料としてのポテンシャルの高さを感じさせます



## 大田市場で「エシカル消費」を研修

2月4日大田市場で、東京に駐在している各県の流通行政担当者、全農職員等を参集した「エシカル消費」の講演会が開催されました。

エシカルとは倫理的な、道徳的に正しいという意味で消費活動において環境保全、持続可能性、アニマルウェルフェア（動物福祉）などに配慮した商品を選択することを「エシカル消費」といいます。

日本のエシカル消費の普及は諸先進国に遅れをとっているとのことですが、若い世代は学校教育でSDGs（持続可能な開発目標）やエシカル消費を習う機会もあり、倫理的な取組を身近な良いこととして認識してきているとのこと。

エシカルの取組はアパレル業界で先行しており、食のエシカルはこれからという状況ですが、今後は農業生産、青果物流通業界でもエシカルを意識した取組が求められるだろうとのことでした。



エシカルはSDGs（持続可能な開発目標）にも通じる考え方です



講師は農畜産物流通コンサルタントの山本謙治氏「エシカルはおいしい！」で検索すると食のエシカルについて知ることができます

<https://www.ethicalfood.online/>



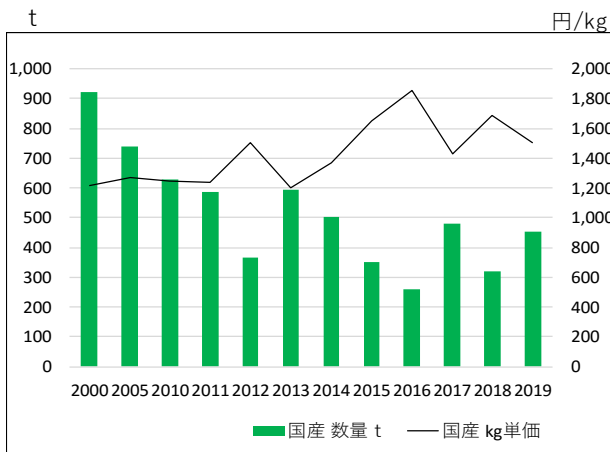
## 2019年産ビワの入荷実績

(前号に引き続き、2019年産の主要果実の入荷実績を振り返ります)

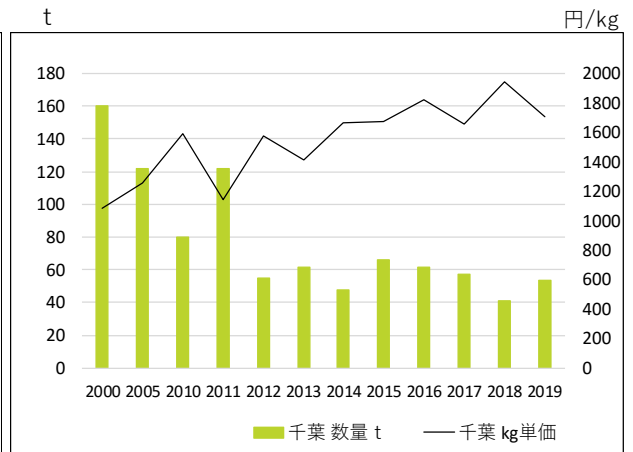
ビワは年次による入荷量の変動幅が大きい品目ですが、長期的に見ると都中央卸売市場への入荷量は減少しつづけており、2019年の入荷量は2000年のほぼ半分となっています。

2019年産は主要産地の長崎県、千葉県の出荷が良好で総入荷量は454tと寒害の影響で入荷量が少なかった前年を大幅に上回りました。一方で価格は1,507円/kgと前年をかなり下回りました。また、千葉県産の入荷量は54t、価格は1,702円/kgでした。

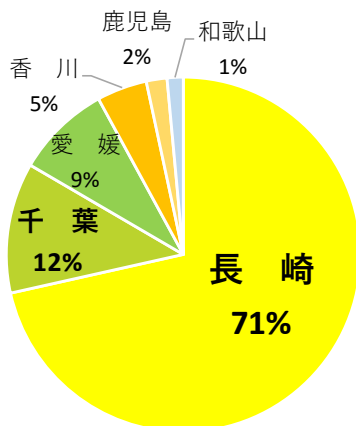
入荷量の産地別シェアは長崎県(71%)が1位、千葉県(12%)が2位、以下愛媛県(9%)、香川県(5%)、鹿児島県(2%)でした。なお、海外産ビワの都中央卸売市場への入荷はありません。



年次別の都中央市場ビワ入荷状況(全国)



年次別の都中央市場ビワ入荷状況(千葉県産)



都中央市場の2019年入荷量シェア



化粧箱の‘房州枇杷’



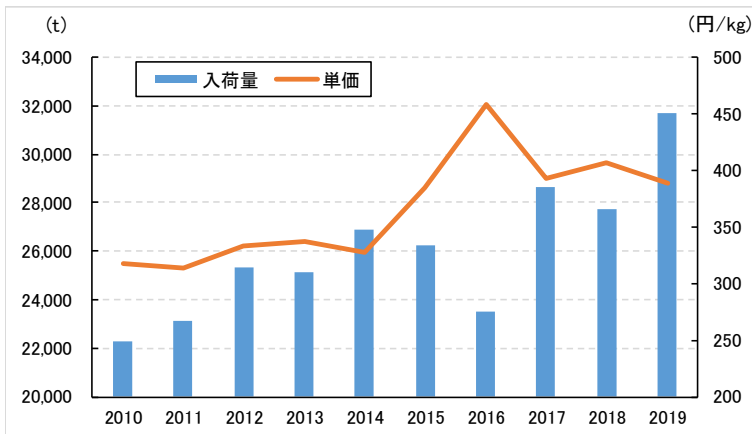
少量パック(香川県産)



## 東京都中央卸売市場へのブロッコリーの入荷状況

総務省の家計調査によると、ブロッコリーは世帯当たりの購入量、支出金額ともに近年伸びている野菜です。東京都中央卸売市場における過去10年間のブロッコリーの入荷状況を見ますと、入荷量、単価ともに増加傾向にあり、前年2019年の入荷量は3万トンを超え、野菜の取扱金額順位は8位と前年の12位から大きく順位を上げました。前年の入荷量シェア上位5位は、1位：香川県(21%)、2位：北海道(17%)、3位：愛知県(14%)、4位：熊本県(10%)、5位：埼玉県(8%)、となりました。

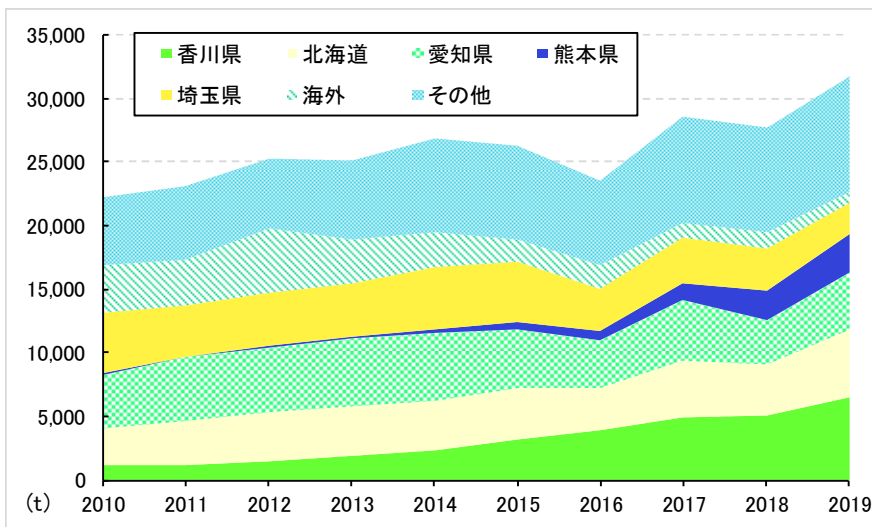
近年、予冷処理や発泡スチロール箱を用いた氷詰め出荷など低温輸送の普及により、香川県、熊本県、長崎県などの西南暖地や北海道からの入荷が増え、周年で国産が供給されるようになりました。一方で、海外産の生鮮ブロッコリーは輸入量が減っています。



都中央卸売市場における入荷量及び単価の推移



氷詰め出荷された発泡スチロール箱  
(熊本県、長崎県など)



都中央卸売市場における産地別の入荷量の推移